

2013年、誰も知らないL.A.がそこにある...

カート・ラッセル
ジョン・カーペンター監督作品
エスケープ
FROM L.A.

パラマウント映画提供

イン・アソシエーション・ウィズライシャ・エンターテインメント デブラ・ヒルプロダクション カート・ラッセル JOHN CARPENTER'S ESCAPE FROM L.A. スティシー・キーチ

スティーブ・ブシェミ ピーター・フォンダ ジョージ・コラフェイスANDクリフ・ロバートソン 音楽シャーリー・ウォーカー&ジョン・カーペンター 編集エドワード・A・ワーシルカ プロダクション・デザイナー：ローレンス・G・ポール

撮影ゲイリー・B・キップ キャラクター創作ジョン・カーペンターANDニック・キャツスル 脚本ジョン・カーペンター&デブラ・ヒル&カート・ラッセル

製作デブラ・ヒルANDカート・ラッセル 監督ジョン・カーペンター UIP配給/パラマウント映画

サントラ盤：イースト・ウエスト・ジャパン www.escape-la.com 視覚効果：フエナ・ビスタ・ビジュアル・エフェクツ



UNITED
INTERNATIONAL
PICTURES



TM & COPYRIGHT © 1996 BY PARAMOUNT PICTURES.
ALL RIGHTS RESERVED.

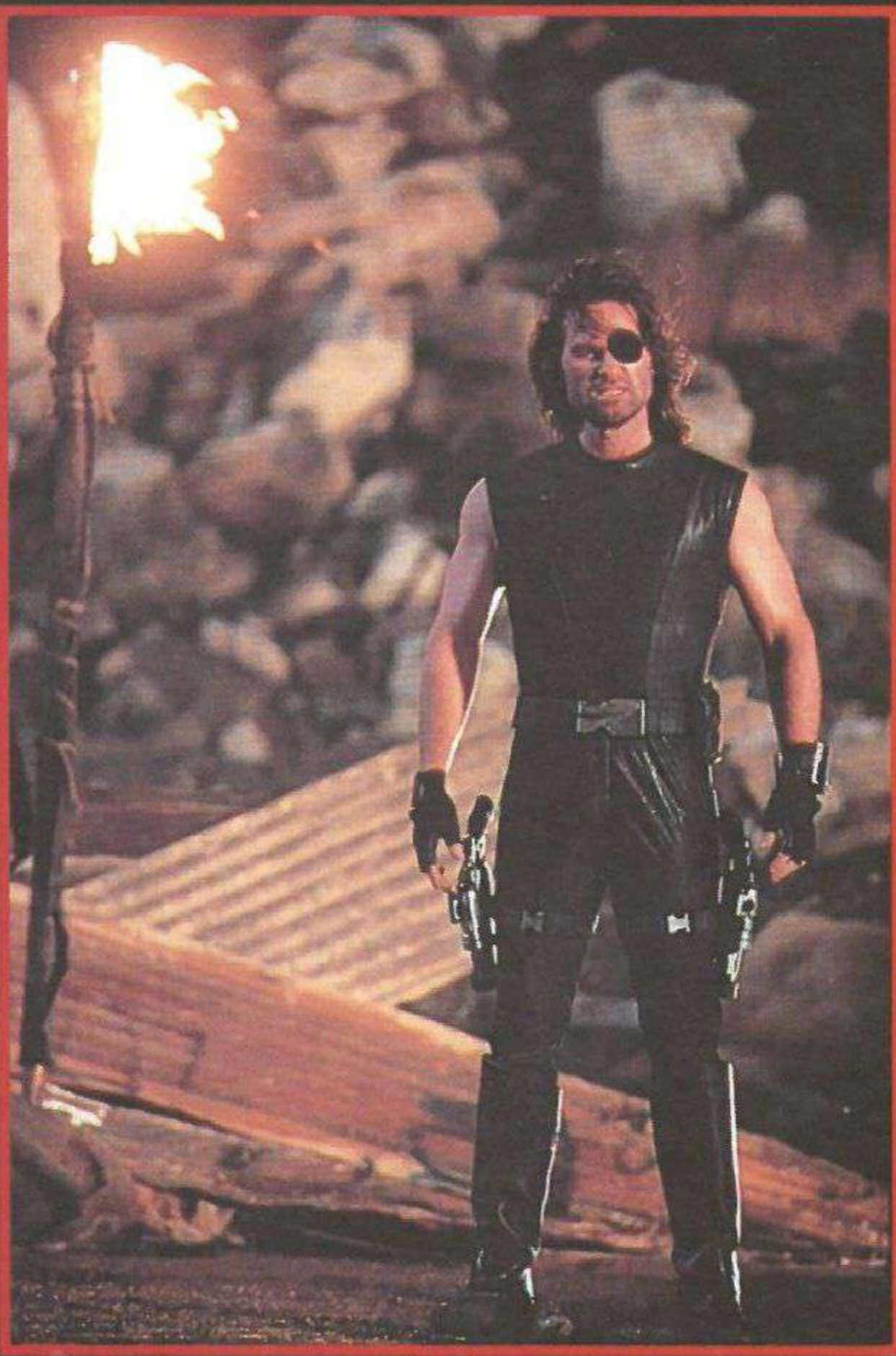


あなたは想像できるだろうか？

ひとつの大地震によって変貌し、自由を失った
恐ろしいアメリカの未来社会を…

“80年代最高のSF”

“その後の未来的思想に限りなく影響を及ぼした”
と、今なお高い評価を世界中で受けている近
未来SF映画の傑作「ニューヨーク1997」
(81)から15年――。



今、全く新しいアイデアにより、史上最強のダー
ティ・ヒーロー“スネーク・プリスケン”が再び立
ち上がる時を迎えた!!

パラマウント映画超大作、ジョン・カーベンター
監督による「エスケープ・フロム・L.A.」は、「ニュ
ーヨーク1997」の続編の形をとりながらも、独立し
た最新の近未来SF映画である。

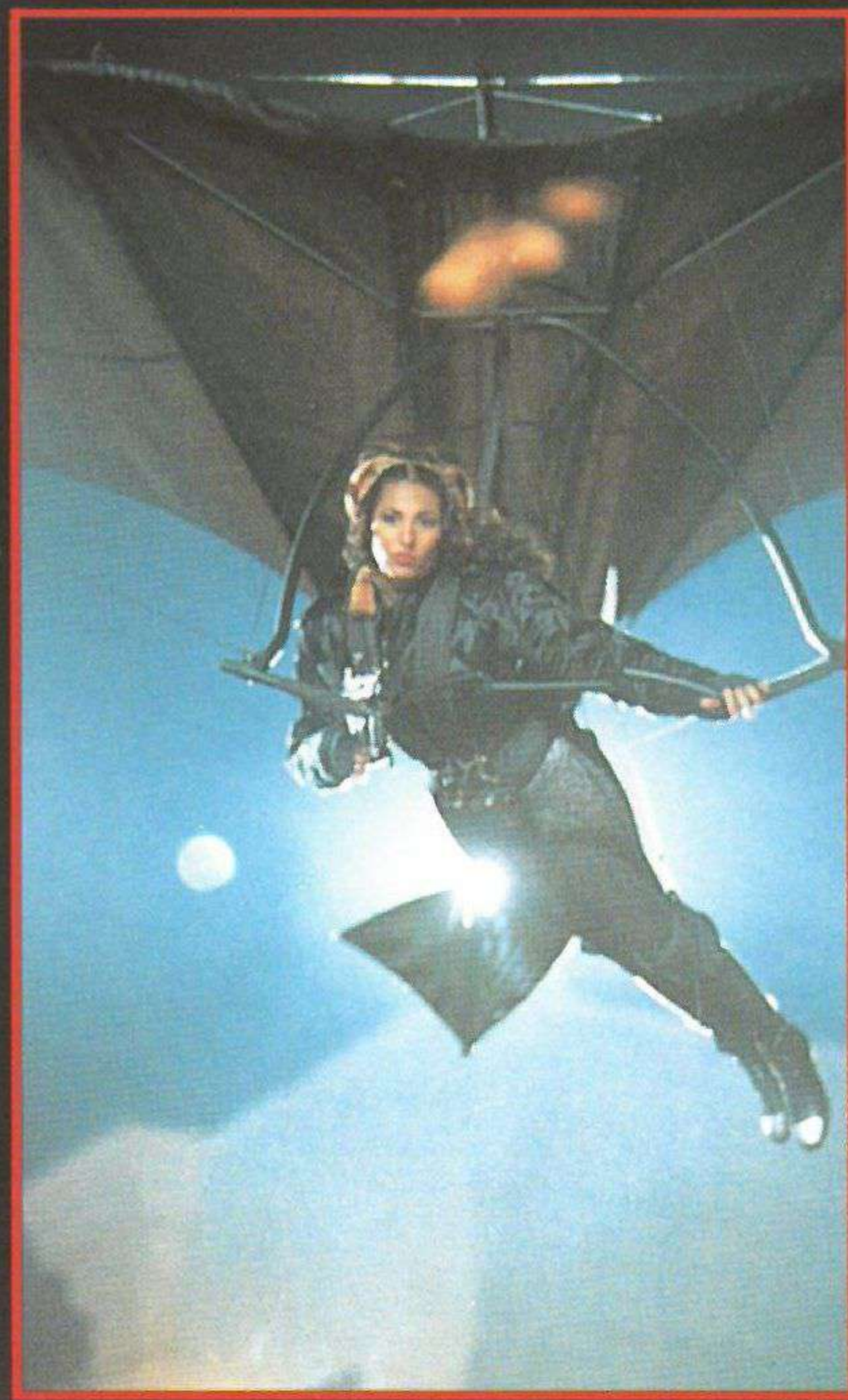
かつて、B級作品「ターミネーター」が7年後の
「T2」で大幅にスケール・アップしたのと同様に、
700万ドルだった前作を遙かに上回る5,000万ドル
もの巨額の製作費を投入した「エスケープ・フロム・
L.A.」には、驚異的な見所が随所に盛り込まれた。
まず、“ビッグ・ワン”と呼ばれる大地震の映像で
は、地震による都市の崩壊や逃げ惑う人々、その影
響で発生した大津波がL.A.を襲うといった想像を
絶するスペクタクル・シーンが登場。また孤島とな
った島の外では、海の底に沈んだユニヴァーサル・
スタジオを始めとするかつての都市が、内側では破



壊されたサンセット大通りの全長1.2kmに及ぶ巨大
なセット、そしてビバリーヒルズ、チャイニーズ・
シアター、オリンピック・スタジアム、ディズニ
ーランド等の変り果てた観光の名所が、かつて見た
事もない未来の暗黒世界として次々とスクリーンに
映し出される。

撮影は、ロサンゼルス市の殆どの場所で行われ
た。クイーンメリー号、ユニオン駅、ウィルトモア・
ホテル、グリフィス・パーク、メモリアル・コロシ
アムといった有名な場所が、この暗黒の未来の物語
での背景となった。

そして、これらの目を見張る映像と共に「エスケ
ープ・フロム・L.A.」の象徴となるのは、アイ・パ
ッチと革ジャンを身につけ、カート・ラッセルが再
びダーティなヒーローを演じるスネーク・プリスケ
ンの存在である。



この強烈なインパクトとカリスマ的な魅力を持つ
アウトローのスネークは、カーベンター監督が“私
の権力に対する嫌悪を伝えている”というように反
体制の象徴でもあり、また日々を生きながらえる昔
のガンマンのようなキャラクターだ。そのスネーク
がいかにしてL.A.島に侵入し、世界を脅かす新兵器
を奪還し、そして脱出するのが「エスケープ・フ
ロム・L.A.」の核となり最大の見所である。

まるでSF作家でも思いつかないような発想を、一
本の映画として世界を築きあげたのが監督ジョン・
カーベンターだ。彼はこれまで、「遊星からの物体
X」「スターマン/愛・宇宙はるかに」「セイリフ」「光
る眼」の4本の作品で異星人をテーマにしなが、全
く異なった手法で表現することに成功するなど、SF
センスは傑出していると高い評価を得ているが、最も
その手腕を発揮したのが「エスケープ・フロム・L.A.」
の前作にあたる「ニューヨーク1997」である。

「スター・ウォーズ」以降の、特撮のみを重要視し大
作化したSF映画とは対照的に、カーベンター監督は
アイデアで勝負し、その創り上げた独自の近未来像に
おける意外性と恐怖感、多くの人々を熱狂させ、こ
の一作でセンスとレベルの次元の差を証明した。

その「ニューヨーク1997」では、犯罪率上昇の打
開策として、ニューヨークのマンハッタン島をまる
ごと監獄とし、そこに墜落した大統領専用機から24
時間の猶予で大統領を救出する任務を受けた犯罪者
スネーク・プリスケンの戦いと活躍をみせた。

そして、16年後の2013年、舞台はN.Y.からL.A.へと
移り、政府が奪還不可能と下した作戦の任務を果たす
ためスネークが再び送り込まれることになるのだ。

スネークが立ち上がる時、ロサンゼルスは白熱し、や
がてアメリカン・ヴァイオレンスは最高潮に達する!!

主演のクールなスネーク役には「バックドラフト」
「スターゲイト」のカ
ート・ラッセル。共演
は、マップ・トゥ・ザ
・スターズ・エディに
「デスペラード」「バルブ
・フィクション」のステ
ーブ・ブシェミ、大波を
待ち続けるパイプライン
には「イージーライダー」の
ピーター・フォンダ、ビバリ



ーヒルズの外科医総統役に特殊メイクで挑むのは「死
霊のはらわた」シリーズのブルース・キャンベル、そし
て合衆国大統領には「まごころを君に」の名優クリフ
・ロバートソン。その他、「フォー・ルームス」のバレリ
ア・ゴリノ、「クラス・オブ・1999」のパム・グリア
、「コロムブス」のジョージ・コラフェイス、「壁
の中に誰かがいる」のA.J.ランガー、「ロング・ライダ
ース」のステイシー・キーチといった個性的な出演陣
が、各々魅力的なキャラクターに扮している。

監督は、類まれなるアイデアを独自のセンスで
映像化し続ける「ニューヨーク1997」「遊星からの物
体X」のジョン・カーベンター。製作はカーベン
ターの初期の作品を手掛けた他、「デッドゾーン」「フ
ィッシャー・キング」等を放ったデブラ・ヒルと、
カート・ラッセルが自らあたり、脚本はこの2人に
カーベンターが加わった。撮影は近年のカーベン
ター作品の全てを手掛けたゲイリー・B・キップ、音
楽は18本の監督作中これが自ら手掛けた15本目とな
るカーベンターと、「透明人間」のシャーリー・ウォ
ーカーのコンビ。また、ショッキングな未来世界を
創造したプロダクション・デザイナーは、「ブレード
ランナー」「バック・トゥ・ザ・フューチャー」のロー
レンス・G・ボール。特殊効果コーディネーターはマー
ティ・プレシデ、ヴェナ・ピスタ・ビジュアル・エフェ
クトがウィルシャー大通りを飲み込む巨大な津波等の
スペクタクルなシーンを創り出している。

想像を超えるアイデアと未知なる世界を築き上げ
た映像が融合する「エスケープ・フロム・L.A.」。こ

こに登場するハリウッド、ビバ
リーヒルズ、アナハイムと
いったL.A.の顔は、あな
たが知っている観光地
ではない!!

エスケープ フロムL.A.

SNAKE IS BACK

再び送り込まれた凶悪犯スネーク

S・D・プリスケン、通称スネーク

アメリカ特殊部隊の中尉時代に名誉負傷賞を2度、大統領に叙勲された最年少者となる。

しかしその後、国家に対して不審感を抱いたプリスケンは、やがて犯罪の道に身を投じるようになった。

1997年に連邦準備銀行強盗の罪で、'88年から監獄となったニューヨーク刑務所送りの終身刑を受けるが、当時のボリス・コミッションナー、ボブ・ホークと組み、罪状が全て赦免になる代わりに連れ去られた大統領を救出する任務につく。24時間以内の救助という過酷な条件にも関わらず見事に任務を遂げるが、国家機密の重要テープを破壊した罪を問われ逃亡、再びスネークは犯罪と逃亡の日々を積み重ねる。その後、一度クリーブランドで捕まり死刑を宣告されながらも逃げ果せることに成功したスネークだったが、2013年の現在、タイの米国領ニュー・ベガスで再逮捕。これまで犯した27もの重罪を取消す代わりに強奪された政府の最終兵器“ブラックボックス”を10時間以内に奪還する任務につくよう強いられる。

行く先々で死んだと思われながらも不死身のスネークは、冷静沈着なアウトローで単独行動を好むが、過去2回、'93年のカンザスとニューヨーク逃亡後のクリーブランドで仲間と共に犯罪を行なう。しかしカンザスでは、ハロルド・ヘルマン(後のブレイン)に裏切られ仲間のボブを失ない、クリーブランドでは、カージャック・マローン(後のハーシー)とテキサス・マイクの2人の裏切りで逮捕される等、仲間には恵まれていない。

何よりも権力を嫌い、何者にもつかず、極悪非道の世界に生きるスネーク。彼のトレード・マークは、左目のアイ・パッチと革ジャン、そして腹にあるコブラの入れ墨。

決めセリフは“コール・ミー・スネーク”。

スネーク・アイテム

地獄の島と化したL.A.島でスネークは誰も頼ることはできない。頼れるのは自分の直感と数少ないアイテムだ。

L.A.への侵入は、一人乗りの原子力潜水艇を用いる。海中とはいえ、水面下には建物が立ち並ぶため危険で困難な操縦となる。スネークが手にする武器、メカ関係は、マグネシウム弾500発の連射が可能なコア・バーナー、敵を気絶させる口射針、姿と声を送ることができるが試作段階の携帯用ホログラム・カメラ、熱感知も防ぐ耐火式ステルス・スーツ、その他、カイト、ハーレーダビッドソンXL-883等が登場する。

ESCAPE FROM L.A.

スタッフ

監督♦ジョン・カーペンター
脚本♦ジョン・カーペンター&デブラ・ヒル&カート・ラッセル
キャラクター創作♦ジョン・カーペンターandニック・キャッスル
製作♦デブラ・ヒル&カート・ラッセル
撮影♦ゲイリー・B・キップ
プロダクション・デザイン♦ローレンス・G・ボール
編集♦エドワード・A・ワーシルカ
衣裳♦ロビン・マイケル・ブッシュ
音楽♦シャリー・ウォーカー&ジョン・カーペンター
視覚効果スーパーバイザー♦キンバリー・K・ネルソン
特殊メイク・アップ♦リック・ベイカー
特殊効果コーディネーター♦マーティ・ブレスン
視覚効果/ブエナ・ビスタ・ビジュアル・エフェクツ
アクション・ミニチュアズ/スターバー・ビジュアル・ネットワーク
ミニチュア効果スーパーバイザー/ジョン・K・スターバー

キャスト

スネーク・プリスケン♦カート・ラッセル
ユートピア♦A.J.ランガー
マップ・トゥ・ザ・スターズ♦エディ♦ステーブ・ブシェミ
クエボ・ジョーンズ♦ジョージ・コラフェイス
マロイ♦ステイシー・キーチ
ブレイズ♦ミシェル・フォーブス
ハーシー♦バム・グリア
サイゴン・シャドウ♦ジェフ・イマダ
合衆国大統領♦グリフ・ロバートソン
タスリーマ♦バレリア・ゴリノ
パイプライン♦ピーター・フォンダ
ビバリーヒルズの外科医総統♦ブルース・キャンベル
スキンヘッド♦ロバート・キャラダイン

STAFF

Directed by♦JOHN CARPENTER
Written by♦JOHN CARPENTER & DEBRA HILL & KURT RUSSELL
Based on Characters Created by♦JOHN CARPENTER and NICK CASTLE
Produced by♦DEBRA HILL & KURT RUSSELL
Directors of Photography♦GARY B. KIBBE
Production Designed by♦LAWRENCE G. PAULL
Film Editor♦EDWARD A. WARSCHILKA
Costume Designer♦ROBIN MICHEL BUSH
Music Score Composed by♦SHIRLEY WALKER & JOHN CARPENTER
Supervisor of Visual Effects♦KIMBERLY K. NELSON
Special Effects Make-Up♦RICK BAKER
Special Effects Coordinator♦MARTY BRESIN
Visual Effects by Buena Vista Visual Effects
Action Miniatures by STIRBER VISUAL NETWORK INC.
Miniature Effects Supervisor♦JOHN K. STIRBER

CAST

Snake Plissken♦KURT RUSSELL
Utopia♦A.J.LANGER
Map to the Stars Eddie♦STEVE BUSCEMI
Cuervo Jones♦GEORGE CORRAFACE
Malloy♦STACY KEACH
Brazen♦MICHELLE FORBES
Hershe♦PAM GRIER
Saigon Shadow♦JEFF IMADA
President♦CLIFF ROBERTSON
Taslima♦VALERIA GOLINO
Pipeline♦PETER FONDA
Surgeon General of Beverly Hills♦BRUCE CAMPBELL
Skinhead♦ROBERT CARRADINE

Production note

★スネーク・プリスケンについて

ラッセルは語る。「僕はこれまで幸運にも様々な人物を演じたが、スネークは一番のお気に入りだ。彼の魅力は不変的で本能的なキャラクターだと思う。観客は彼を感じても理解はできない。彼は人生の始めに、人生なんてあと60秒生き延びることだと悟ったんだ。彼ほど社会に適応できない人間はいないさ」

デブラ・ヒルは語る。「スネークは、時代に勢いをつけるカルト・キャラクターの一人よ。それをラッセルのように演じられる人間は、他にはいないわ」

カーペンターは語る。「ロサンゼルス大地震の後、カートがやってきて私に言った。「N.Y.で前にやったことを今こそロスでやる時じゃないか」とね。彼は、スネークだけがもう一度演じたい役だと言う。スネークは何も手を加える必要のない古典的なキャラクターだ。本当は何者なのか、どういう素性なのか、誰も知らない。わかっているのは、彼が極悪非道の世界に生き、引き受けた仕事はやってのけるということさ。この映画は基本的には、カウボーイ・ノワールだね。これは未来を舞台にしたダークなウェスタンなのさ」



★監督についてラッセルは語る

「この映画ほど皮肉なユーモアがあり、L.A.を絶望的に描いた人間はいない。スネークもジョン自身の自我が変化した一つのパターンだ。彼は素晴らしくドライなセンスがあるし、世間の見方もユニークで、権威を徹底的に嫌い、常にいくらかコミカルに描く。ジョンのように独自のビジョンを持っている人間と、もう一度仕事ができスリリングだね」

★「エスケープ・フロム・L.A.」のアイデア

「ニューヨーク1997」の続編のアイデアは以前からあったが、具体的ななはずみがついたのは、'94年のL.A.大地震の後だ。

ヒルは語る。「ジョンとカートと私は、7月のある日、あの地震で私達がどんな影響を受けたか7時間ほど話し合った。この数年の間に、皆、街から逃

げる事を一つの選択として考え出し、火事、洪水、地震、犯罪、暴力等が次々と私達を襲った。逃げ出したいという会話は、街だけでなく国中で聞こえた。それで私達は考えた。これをもう少し突き詰め結びつけたらどうだろうと。この映画を作るには、絶好のタイミングだと思えたわ」

★クランク・イン

この映画は、昨年12月11日から70日間に渡る夜間撮影によって製作された。撮影は、グリフィス・パークのマウント・ハリウッド・ドライブの頂上で始まった。

ヒルは言う。「撮影の最初の晩はとても奇妙な感じだった。カートも私も、その前の金曜日に「ニューヨーク1997」の撮影を終えて、長い週末を過ごしたと感じてた。カートは、この映画の始めに15年前と同じ衣装を身につけていたし、それが完璧に似合ってた。それは、彼が自分のキャリアの中で唯一保管した衣装なの」

★L.A.島のプロダクション・デザイン

ローレンス・G・ボールは、その素晴らしい想像力で、地震で荒廃した未来のL.A.の世界を創り上げた。カリフォルニア州カーソンの埋め立て地に建てられた小屋やバラックのセットは、ボールが持っていたメキシコ地震と、60万人が死亡した中国の地震の写真からインスピレーションを得て造られた。その地区は、スクラップの金属でできたバラック小屋の立ち並ぶ町となり、狭い道路が瓦礫やガラタの山の間にくねくねと通っている。その世界は、大地震に襲われた後の、身も凍るようなサンセット大通りだ。

ボールは言う。「このL.A.島では、人々は基本的に



は通りに暮らしている。従って私は、人間のしつと工夫力を感じさせる闇市やほったて小屋を創造しなければならなかった。その結果、様々な物をよせ集め重ねたイメージが出来上がった。他には、映画の殆どが夜間撮影だったため、屋外シーンの画面の中にあらゆる人工的な明かりが入らないようにすることが困難だった」

「我々はまた、地震がラッシュアワーに起きたと設定し、破壊されたサンタモニカ・フリーウェイのシーンを撮影した。このシーンも、カーソンの別の場所にセットを造り、廃車場から廃車200台を運び瓦礫の迷路に散らばした。この数々の車には、家を失った人々が住みつき、車の街になっているんだ」

映画のクライマックスのハッピー・キングダムが撮影されたのは、ユニヴァーサル・スタジオのバックロット（屋外撮影用敷地）で、このテーマパークが古びて地震に被害を受けたように見える装飾が施された。

★津波撮影についてヒルは語る

「ミニチュア模型と水を使う撮影で難しいのはスケールよ。波がミニチュアのビーチを襲うと、それがミニチュア模型だとバレてしまうし、ミニチュアの水はないから、津波のシーンは難しいの。でもテキサスのテーマパークにあったウェイブ・ラックという、ウェイブ・マシーンを活用し、本当にエキサイティングな合成シーンを

撮影することに成功した」

★特殊メイク・アップについて

リック・ベイカーが、この映画の多くの登場人物達に特殊メイクを施した。世界的に知られる美容整形外科のメッカ、ビバリーヒルズを皮肉った手術のやり過ぎのキャラクターをブルース・キャンベルが演じる。

ベイカーは語る。「キャンベルのメイクには4時間半ほどかかった。ヘア・プラグを作り、顔や鼻を引っ張り上げ、耳を下げ、顔に縫い傷を作った。このメイクの全てが、本物の美容整形手術の技術を元にしている。ただそれより乱暴にやっただけだ。また我々は、唇にコラーゲンを使用しすぎたり、頬骨を移植しすぎたり、留め金や縫い糸で肉体的に奇妙なチューブをつけているといった恐ろしい姿の住人達も作り出した。カーペンター監督から薄気味悪くと言われたので、その通りにしたんだ」

Star & Staff memo



カート・ラッセル

主演＝スネーク・ブリスケン
製作・脚本

30年以上に渡って、コメディからシリアス・ドラマまで多彩な映画で、印象深い演技を残しているラッセル。本作品がカーペンター監督との5本目のコンビとなる。

1951年3月17日、マサチューセッツ州スプリングフィールド生まれ。9歳の時から子役として俳優業を始め、'63年にエルビス・プレスリー主演の「ヤング・ヤング・バレード」で本格的な映画デビューを飾る。

以後10年間は、ディズニー映画やテレビ番組に出演し、人気を博す。その間、ヤンキースの選手だった父の影響もあり、プロ野球の選手としてプレイするが、肩を故障し再び俳優に専念する。

その後プレスリーを演じたTV映画「ザ・シンガー」(79) (カーペンター監督)で絶賛され、エミー賞にノミネートされる。'81年には運命ともいえる本作のオリジナル「ニューヨーク1997」に出演。存在感あるアイ・パッチをした無法者スネークを魅力的に演じたことにより、一躍タフ・ガイのイメージを築き上げたラッセルは、その後も「遊星からの物体X」(82)、「ゴーストハンターズ」(86)でカーペンターと組み、役者としての新たなスタートを飾る。

またその間、ラブ・サスペンス「テキーラ・サンライズ」(88)、ヒューマン・コメディ「潮風のいたすら」(88)、そしてシルベスター・スタローンと共演したアクション「デッドフォール」(90)といった、あらゆるジャンルの映画で批評家たちの好評を博す。続くロン・ハワード監督の「バックドラフト」(91)では、勇気ある消防士役を熱演し実力を遺憾なく発揮。以降は、ボックス・オフィスにおいても、常に上位に顔を出すマネー・メイキング・スターとなり、俳優としての地位を不動のものとした。

その他の出演作に、「ユーズド・カー」(80)「シルクウッド」(83)「ウインター・ピープル」(89)「不法侵入」(92)「トゥーム・ストーン」(93)「スターゲイト」(94)等があり、最近作には「エグゼクティブ・デジジョン」(96)がある。



スティーブ・ブシェミ

マップ・トゥ・ザ・スターズ・エディ

独特の芸風とキャラクターで活躍を続けているブシェミ。

オフブロードウェイから86年に「Parting Glances」で映画デビューを果たした彼は、ジム・ジャームッシュの「ミステリー・トレン」(89)でスピリット賞にノミネートされ、早くも頭角を現す。

その後も、コーエン兄弟の「ミラース・クロッシング」(90)や「バートン・フィンク」(91)、そしてタランティノーの「レザボア・ドッグス」(91)や「パルプ・フィクション」(94)といった話題作に次々と出演し、「レザボア・ドッグス」ではスピリット賞助演男優賞に輝き、批評家たちの絶賛を博した。最近では、アントニオ・バンデラス主演の「デスペラード」(95)で、彼の相棒役を好演している。

その他の出演作に「ニューヨーク・ストーリー」(89)「ライジング・サン」(93)「未来は今」(94)「ハードロック・ハイジャック」(94)「デンバーに死すとき」(95)等がある。



ピーター・フォンダ

パイプライン

ニューシネマの名作「イージー・ライダー」(69)を始めとして、あらゆるジャンルの映画に出演しているフォンダ。

1939年2月23日、ニューヨークにヘンリー・フォンダの長男として生まれる。オマハ大学で劇団に参加した彼は、卒業後にブロードウェイの舞台に立ち、ニューヨーク批評家賞を受賞、すぐに脚光を浴びる。

'62年にサンドラ・ティアーの相手役として「タミーとドクター」で映画デビューを果たす。その後、60年代後半から70年代にかけて、「イージー・ライダー」(兼製作) (69)、「ふたり」(73)そして、「ダーティ・メリー・クレイジー・ラリー」(74)等の作品に出演。「さすらいのカウボーイ」(71)では監督もこなし、多才さを発揮した。'78年には「グランド・キャニオンの黄金」(TV)で、父親のヘンリーと共演も果たしている。

その他の出演作に「世にも怪奇な物語」(67)「悪魔の追跡」(75)「未来世界」(76)「キャノンボール」(81)等がある。



ブルース・キャンベル

ビバリーヒルズ外科医総統

ミシガン州立大学映画研究会からの先輩であるロバート・タバート、サム・ライミらと映画を撮り続けていたキャンベル。

'83年には、2人と一緒に撮ったスプラッター・ムービーの代表作とも言える「死霊のはらわた」を発表。この作品で彼は主役を演じ、さらに製作総指揮を手掛ける等、一躍脚光を浴びることとなる。その後も「XYZマザーズ」(85)、「死霊のはらわたII」(87)そして「ダークマン」(90)で、タバート、ライミの2人と組み、息の合った所を見せている。

最近、ティム・ロビンス主演の「未来は今」(94)や、フランク・マーシャル監督の「コンゴ」(95)、シャロン・ストーン主演の「クイック&デッド」等の作品で、強烈な印象を残す脇役を演じ、多くのファンの支持を集めている。

その他の出演作に「マニャック・コップ」(88) (90)シリーズ、「ワックスワーク2/失われた時空」(92)、「キャプテン・スーパーマケット」(93)等がある。



バレリア・ゴリノ

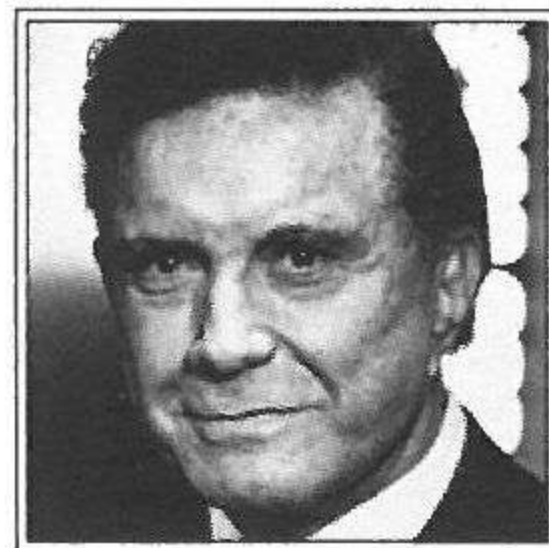
タスリーマ

1966年10月22日イタリアのナポリ生まれ。14歳からモデルとしてアテナで活躍したゴリノは、17歳でリナ・ウエルトミューラー監督に見い出され「A Joke of Destiny」で映画デビュー。

'86年には「愛の物語」⑩でベネチア映画祭の女優賞を受賞し、批評家たちの高い評価を得る。さらに'88年、アカデミー作品の「レインマン」で、トム・クルーズの恋人役を演じ、一躍世界的に知られることとなる。

また彼女は、あらゆる映画をパロディ化した大ヒットコメディ「ホット・ショット」(91) (93)シリーズにも出演し、コミカルな演技を披露している。

その他の出演作に「三人姉妹」(88)「インディアン・ランナー」(91)「不滅の恋/ベートーヴェン」(94)、最近作にはタランティノーの「フォー・ルームス」(95)がある。



クリフ・ロバートソン

大統領

「まごころを君に」(68)でアカデミー賞主演男優賞に輝いているベテラン俳優のロバートソン。

1925年9月9日、カリフォルニア州ラ・ホーラ生まれ。40年に渡るキャリアの中で43本の映画に出演している彼は、あらゆるジャンルで才能を遺憾なく発揮し、息の長い活躍を続けている。

彼の数ある出演作には「魚雷艇109」(63)「コンドル」(75)「愛のメモリー」(76)等があり、最近では「勇気あるもの」(94)に出演している。



パム・グリア

ハーシー

女優であり歌手でもあるグリア。

UCLAに学んだ彼女は、「ワイルド・パーティ」(70)で映画デビューを飾る。その後は「Foxy Brown」「Coffy」「Sheba Baby」といったアクション映画に出演。「アパッチ岩ブロンクス」(81)では、ジャンキー役で強烈な印象を与えた。

さらに「ザ・バックージ/暴かれた陰謀」(89)や「クラス・オブ・1999」(90)の作品でも存在感ある演技を披露している。そして'93年には、ナショナル・ブラック・シアター・フェスティバル賞とアフリカン・アメリカン・フィルム・ソサエティ功労賞に輝いている。その他の出演作に「吸血鬼ブラキュラの復活」(72)⑥「悪魔の改造人間」(86)「黒豹のバラード」(93)がある。



ジョージ・コラフェイス

クエボ・ジョーンズ

ヨーロッパで舞台を中心に活躍しているコラフェイス。

1952年12月7日、パリで生まれた彼は、早くから俳優を志し、名門のコメディ・フランセーズに入学する。その後は、パリで舞台に立ち、役者としてのキャリアを積んだ。

映画への進出は、巨匠デビッド・リーン監督作の主役に選ばれながらも、リーンの死で製作中止となる。しかし'82年に、アメリカ大陸発見500周年作品として作られた「コロンプス」で、見事主役に抜擢され、マーロン・ブランドやトム・セレックを相手に堂々の演技を披露し一躍注目を浴びた。



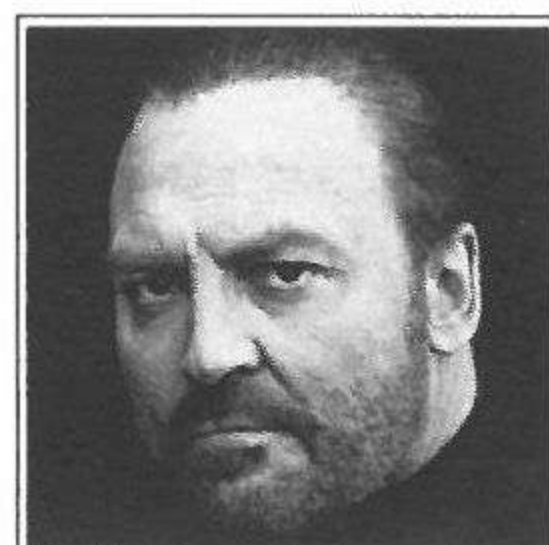
A.J.ランガー

ユートピア

批評家に絶賛されている人気テレビ・シリーズ「My So- Called Life」のレイアン役で、全米に知られているランガー。

オハイオ州コロンプスに生まれた彼女は、中学の時に教師からアーティストのマネージャーを紹介されたのをきっかけに女優を志す。そしてフォックス・テレビの「Parker Lewis Can't Lose」の主役を見事に射止め、その後も「ベイウオッチ」や「ビバリーヒルズ高校白書」といった人気シリーズに出演する。

映画への出演は、'91年にウエス・クレイブン監督の「壁の中に誰がいる」で、監禁された少女アリスを好演している。さらに「ニューマン」(91)、そして本作品と今後の活躍が期待される。



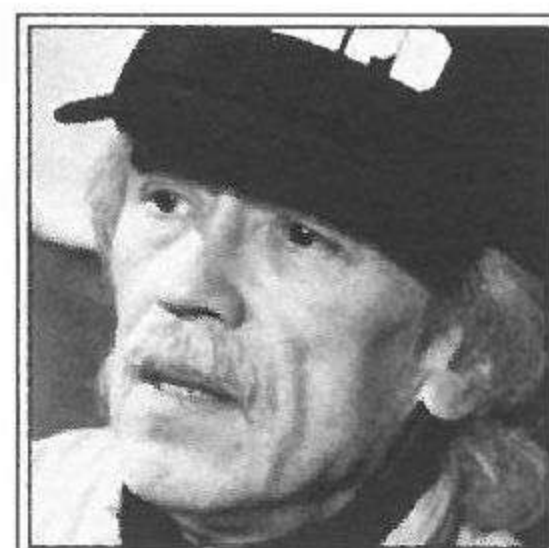
ステイシー・キーチ

マロイ

1946年6月1日、ジョージア州サバナ生まれ。演劇を教えていた父親の影響で俳優志願だった彼は、カリフォルニア大学在学中から劇団に参加し、その後イェール大学の演劇科で学ぶ。フルブライト奨学金を得てロンドンへ留学、帰国後、舞台でキャリアを積む。

ブロードウェイでのデビュー作「Indians」でトニー賞にノミネートされ一躍注目を浴び、その後3度のオビイ賞を受賞している。映画への出演は、'68年の「愛すれど心さびしく」からで、「ドク・ホリデー」(71)では主役を演じ、印象的な演技でマスコミから絶賛を博す。

その他の出演作に「センチュリアン」(72)「ロング・ライダーズ」(80)「クラス・オブ・1999」(90)等がある。テレビでも好評を得ているキーチは、カーペンター監督の「ボティ・ボックス」でケーブルACE賞を受賞している。



ジョン・カーペンター

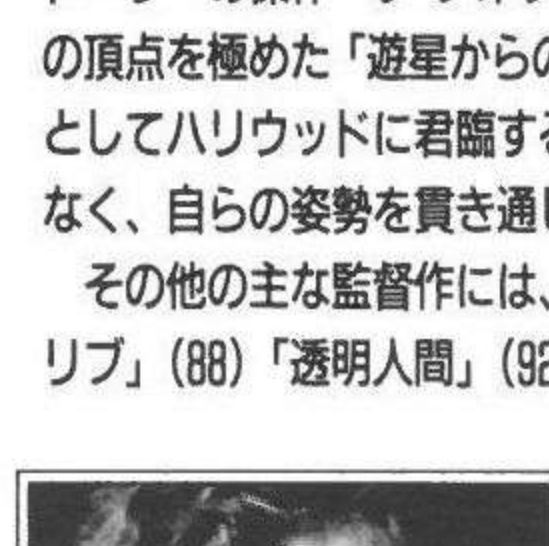
監督・脚本・音楽

およそ20年間にわたりハリウッドきっての鬼才として熱狂的支持者を持つ一方、ヨーロッパでは常に高い評価を受けているカーペンター。彼の全ての作品には一貫した独自のスタイルがあり、時代を超越し必ずカルト化することでも知られている。

1948年1月16日、ニューヨーク州カーセージに生まれ、ケンタッキー州ボリング・グリーンで育つ。幼少の頃に見た「遊星よりの物体X」を始めとするSFホラーに強い影響を受け映画の虜となる。これが後の映画製作における原点となった。

音楽教授でオーケストラの指揮者である父を持つ彼は、ウェスト・ケンタッキー大学、南カリフォルニア大学映画科に学ぶ。'70年にUSC在学中に製作した「ブロンコ・ビリーの復活」が、アカデミー賞短編賞を獲得した後、「ダーク・スター」(74)、「要塞警察」(76)⑩、といった低予算映画を大ヒットさせ、批評家からも絶賛された。続く「ハロウィン」(79)では、わずか90万ドルの製作費で世界中で7,500万ドルもの興収を稼ぎ出した。この一作でカーペンターは全く新しいタイプのホラー作家として注目を浴び、続くゴースト・ストーリーの傑作「ザ・フォッグ」(80)、SFとアクションのセンスを発揮した「ニューヨーク1997」(81)、特殊メイクと極悪イタリ안의頂点を極めた「遊星からの物体X」(82)といった話題作を連発し、彼の名は全世界に轟くと共に、早くもSF・ホラー映画の第一人者としてハリウッドに君臨するようになった。その後も、ビッグバジェット映画の作品コントロールやメジャー会社の制約に屈することなく、自らの姿勢を貫き通し新作を発表し続けている。

その他の主な監督作には、「クリスティーン」(83)、「スターマン」(85)、「ゴースト・ハンターズ」(86)、「パラダイム」(87)、「セイリブ」(88)「透明人間」(92)、「マウス・オブ・マッドネス」(94)、「光る眼」(95)がある。



デブラ・ヒル

製作・脚本

久しぶりにカーペンター監督とコンビを組んだヒル。

ニュージャージー州ハドンフィールド生まれ。美術監督をしていた父親の影響で、幼い頃から映画製作に興味を持つ。テンブル大学を卒業した彼女は、アドベンチャー・フィルムズに入社し、製作の仕事に携わる。

その後ハリウッドに移ったヒルは、カーペンターと出会い、彼の「要塞警察」⑩(76)の脚本スーパーバイザーと編集アシスタントを務める。そして'78年にはカーペンターの代表作とも言えるホラー映画、「ハロウィン」で再びコンビを組み、製作、脚本を担当する。その後も「ザ・フォッグ」(79)、「ブギーマン」(81)、「ハロウィンIII」⑩、そして、前作の「ニューヨーク1997」(81)を手掛け、彼の右腕として実力を遺憾なく発揮した。

しかし、その後は単独で、アポリアッツ国際映画祭批評家賞を受賞した、クローネンバーグ監督の「デッドゾーン」(83)を手掛け、プロデューサーとしても一躍注目を集める。

'85年には、長年の友人であるリンダ・オストと共に、ヒル/オスト・プロダクションズを設立。そして二人は、クリス・コロンプスの監督デビュー作でもある「ベビーシッター・アドベンチャー」(87)を製作し、続くテリー・ギリアム監督の話題作「フィッシャー・キング」(91)では、ベニス映画祭の銀獅子賞に輝いている。また、HBOのTVシリーズ「Monsters」では監督デビューを飾っている。

L.A.マップ

サンフェルナンド海

西暦2000年

①サンタモニカ

大地震で発生した大津波が最初に押しよせる場所の一つ。名物の観覧車も波にのまれる。



②ユニオン駅

教会のような形をしたステーション。大地震の時に発生した火災により壊滅。



③ウェスティン・ボナベンチャー・ホテル

ダウンタウンでひととき目立つガラス張りのホテル。大地震で崩壊する。



西暦2013年

④ユニヴァーサル・スタジオ

世界的に知られるアトラクションだが、今や海の底に沈んでいる。

⑤コーエンガ通り

スネークが潜水艇で上陸した場所。この通りを南に向くとハリウッド・エリアに到着する。

⑥ハリウッド・ボウル

コンサート専用の野外劇場。最初の目的地だが、救助隊の生き残りを発信器で追い、マルホランド・ドライブを横切って別ルートへ。

⑦キャピタル・レコード

円盤を重ねたような形で有名なロス名物の一つ。現在は崩壊した姿が残っている。

⑧マンズ・チャイニーズ・シアター

ロスで最も有名な建物の一つだが、今や娯楽の稼げ場と化す。この近くのバーが、発信場所であった。

⑨サンセット大通り

瓦礫の山が続く通りと化したメイン・ストリート。ここでクエイクはパレードを、追うスネークはバイク・チェイスを繰り広げる。

⑩マップ・トゥ・ザ・スターズ・エディの家

サンセット大通りとドウエニー・ドライブの角にある

⑪ビバリーヒルズ

世界有数の高級住宅地だが、今や誰も生きて帰れない超危険区域。かつてデラックスなホテルだったビバリーヒルズ・ホテルも今は残虐な外科病棟に。



★コリアン・ドラゴンの区域★



国家警察監視地図

この監視の壁は、南東のオレンジ・カウンティ〜北西のマリブまで続き、海岸線よりロスからの逃亡を見張っている



アナハイム

ロングビーチ

オレンジ・カウンティ

⑫下水道

網の目の様に張り巡らされたL.A.の地下。ピバリーヒルズとダウンタウンのエリアで登場。

⑬バーモント

センチュリー・シティを横切るサンタモニカ・フリーウェイ上に位置する。ここより南は、冷酷なコリアン・ドラゴンや、クエボのアジトが。

⑭メモリアル・コロシウム

エキスポジョン・パーク内にあり、91,000人収容可の巨大スタジアム。'32年と'84年のオリンピック会場だったが、現在は殺人ゲームの開催場と化す。

⑮ウィルシャー峡谷

かつてのウィルシャー通りが、大地震の影響で峡谷と化した。2度目の大地震で大津波が押しよせる。

⑯ダウンタウンのボート

ロングビーチに停泊していた豪華客船クイーンメリー号が大津波で流れついたもの。現在はハシーのアジトと化す。

⑰フリーウェイ5号線

バーバンクからサンタアナまでをまっすくに突っ切るフリーウェイ。大地震後はハリウッド〜アナハイムで道は途切れた。

⑱ハリウッド・サイン

L.A.の象徴。山の斜面にある巨大な看板で、一文字の大きさは13.7m。かなりの損害を受けるが“HOLLYWOOD”の文字は読み取れる。

⑲ハッピー・キングダム

今や悪の拠点と化した、世界を代表するアトラクション、ディズニーランドの変わり果てた姿。

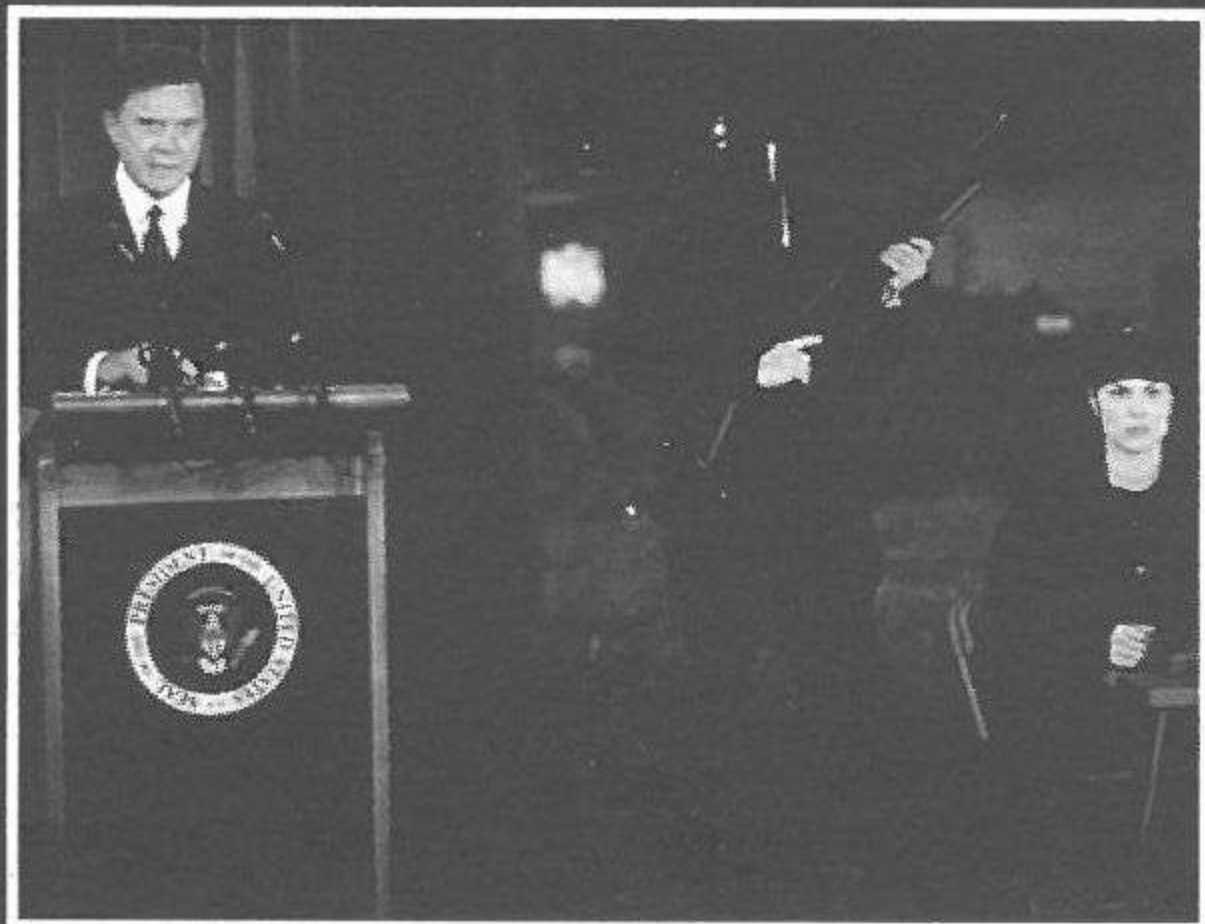




■大地震とApocalypse“黙示録”

4年後の西暦2,000年、犯罪都市として知られる一方、毎年3,000万人もの観光客が訪れる、カリフォルニア州ロサンゼルスに異変が起きた。8月23日、午後12時59分にマグニチュード9.6の大地震がL.A.を直撃し、街全体が倒壊。地震により生じた大津波は街を一飲みし、60万人もの命を奪った。

更に、サン・フェルナンド・ヴァレーに亀裂が生じ、この一帯は海拔0m以下となる。つまり、L.A.は海に囲まれた孤島と化した。



■新制、アメリカ合衆国の誕生

大地震の後、アメリカは大きな変化を遂げていた。力を増した国内の反抗勢力に対して既に結成されていた国家警察を皮切りに、この大地震を予言した大統領候補は新大統領（クリフ・ロバートソン）となり、終生の任期を得ていた。憲法は大幅に改定され、新大統領はモラルの高さを主張。それは、タバコ、ロック、宗教の自由、赤肉（牛肉・羊肉）、承認なき結婚等を全て禁止する事を示していた。そして首都は、ワシントンから大統領の故郷であるヴァージニア州リンチバーグへと移された。



■監獄島と化したロサンゼルス

オゾン層破壊が進んだ2013年、人々は時折降る酸性雨と、皮膚を破壊する強烈な紫外線から身を守り、日中の行動を避けていた。

孤島と化したL.A.は、新しいアメリカの規律に反する者たちの追放地域となり、有罪判決を受け一度市民権を失った米国民は、合衆国から切り離されたこの島から二度と戻ることを許されなかった。島の囚人たちは凶悪犯罪者のみならず、娼婦、家出人、そして無神論者さえ含まれていた。島の周りは、軍隊のような国家警察が海岸線を守り、南東のオレンジ・カウンティから北西のマリブまで監視の壁に囲まれた。島へは国外追放センター待機棟から送られ、そこでは罪を悔いる者に電気イスの選択を許可し、また、専用のボリス・チャンネルがその恐しい一部始終を撮影し、国中に映像を流していた。



■ペルーの革命家、クエボの報復

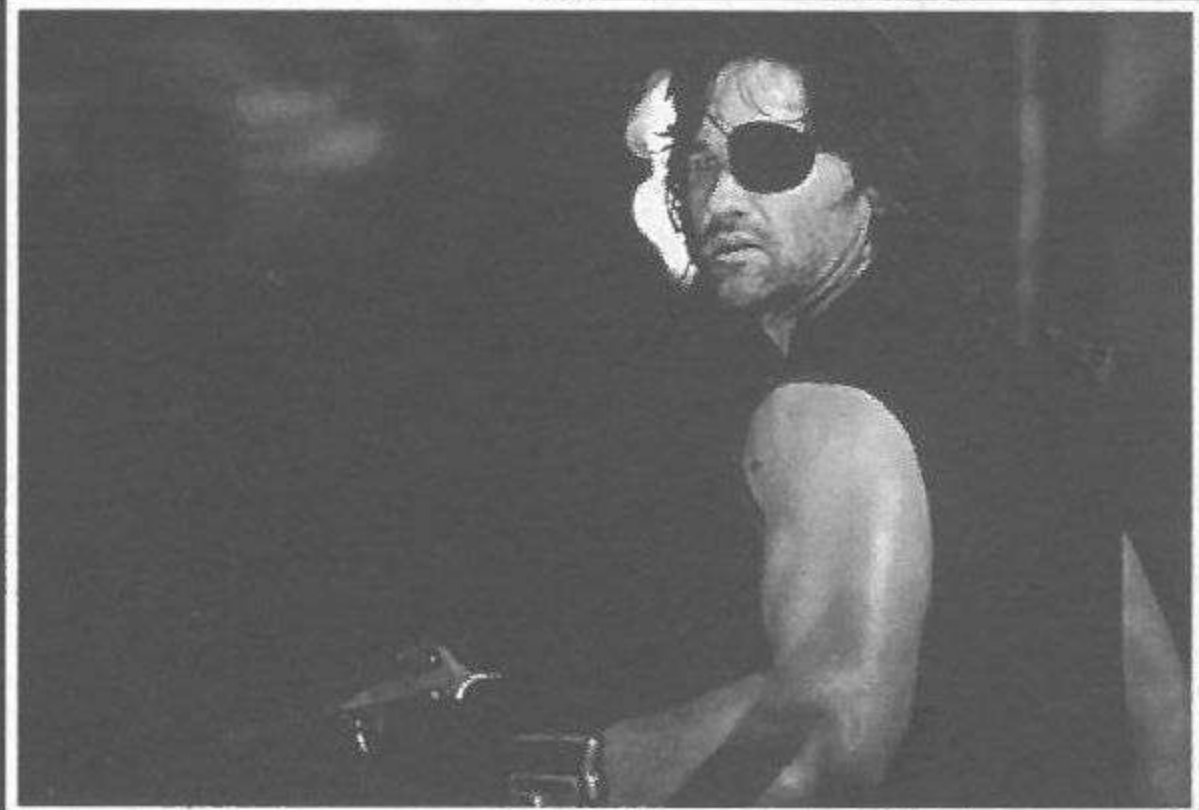
残虐なテロリスト集団“輝く道”のリーダー、クエボ・ジョーンズ（ジョージ・ゴラフェイス）はL.A.一の悪党として恐れられ、大統領以上の守りの堅さと軍隊なみの武装力を誇っていた。クエボにとってのアメリカは、偽りと恐怖の腐敗した神権政治であり、彼の目的は第三世界をまとめ北米を取り返すこと。彼は大統領の娘ユートピア（A・J・ランガー）を利用し、手中にしたブラックボックスを片手に大統領へ向けメッセージを送った。

「L.A.島の全囚人を開放せよ!!」

■政府の切札“ブラックボックス”とは!?

国家機密で守られてきたブラックボックスは、政府が開発したエネルギー破壊器だ。

外観は普通のリモコン装置だが、中のディスクが究極の防衛システムとなる。その仕組みは、人工衛星に取付けられた中性子爆弾を起爆させ、放射された強電磁波が生命には無害だが全ての電気エネルギーを破壊する。それを正確な照準器に変えるのがディスクなのだ。ブラックボックスは、一台の車から国土土まで目標を狙い撃ちすることが可能で、地球上を暗黒時代にも変えうる恐怖の兵器なのである。



■全てを委ねられた極悪囚人スネーク

この国家を揺るがす緊急事態に、大統領はある決断を余儀なくされた。

クエボ達が仕掛ける戦争開始の時は近づき、先に送り込んだ5名の救助隊の4名は殺され残りの一人も消息を絶っていた。政府が下した決断は奪還不可能。だが、たった一つの可能性が残されていた。それは、27もの重罪を犯した犯罪の帝王を送り込むことだった。その囚人の名はスネーク・プリズケン（カート・ラッセル）。彼は以前、24時間の限られた時間内で、監獄と化したニューヨークから大統領を救出した実績を持っていたからだった。

大統領とボリス・コミッショナーのマロイ（ステイシー・キーチ）達は、スネークに強制的に任務を与えた。聞く耳さえもたないスネークだが、彼らはそれを見越し先手を打っていた。スネークが断れない方法、それは彼の体内に既に入り込んだ恐ろしいビールスを指していた。

■殺人菌ブルトキシンの秘密

遺伝子工学により作られたブルトキシンは、生物を死に至らしめる恐怖のビールスだ。解毒剤は存在するが、10時間以内でないと効力を失う。このビールスが体内に入ると約2時間で頭痛が始まり、熱が徐々に始り体力が低下する。最終的には全ての神経を破壊し、感染者は血を流して死んでしまう。

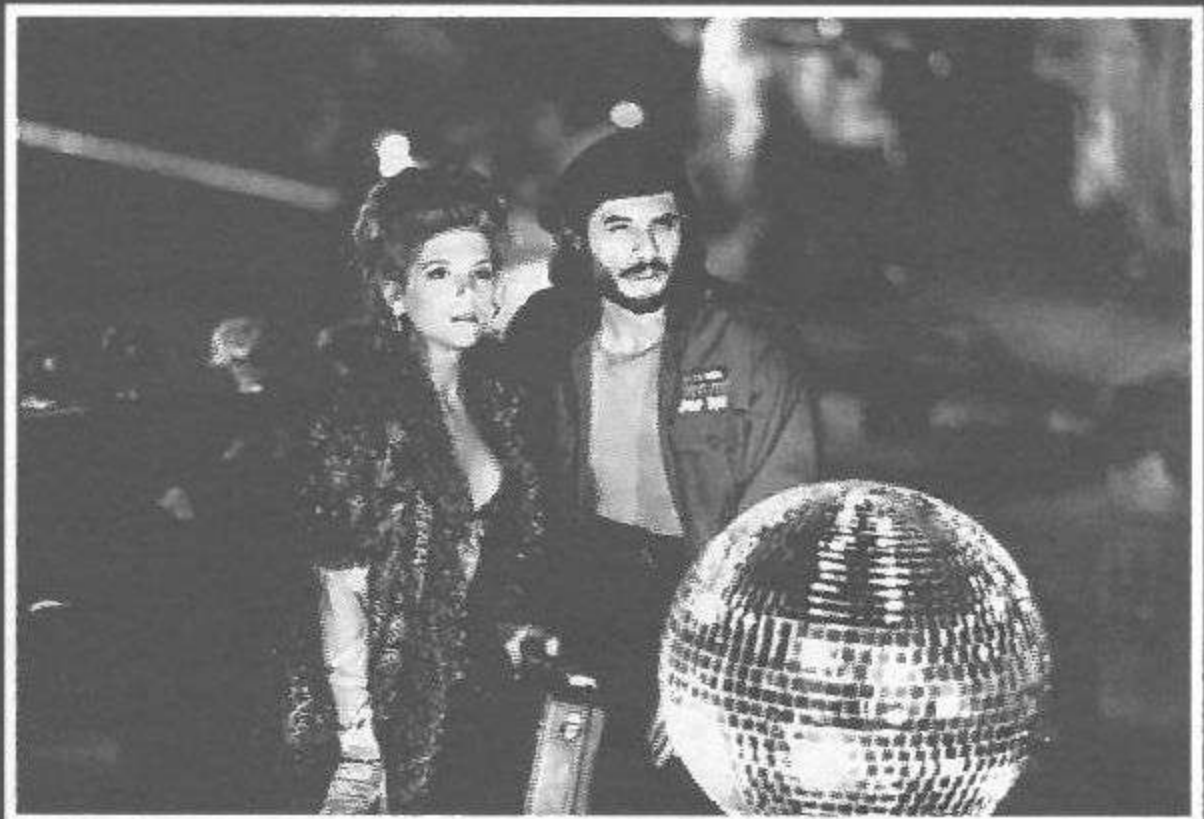
そしてブルトキシンには誰も知らない、もう一つの秘密が隠されているという。



■待ち受ける囚人たち

解毒剤を得るためやむなく任務に就いたスネークは、マロイからの指示を受け潜水艇に乗り込んだ。

一人乗りの原子力潜水艇は発進し、サン・フェルナンド海へと着水した。海底では沈んだ都市がまだその姿を残し、ハリウッド・フリー・ウェイ沿いに進むスネークは、変わり果てたユニヴァーサル・スタジオを通り過ぎ、やがてコーエンガ通りへ上陸した。そこには、闇と嵐の前の静けさのみが漂っていた。



この先スネークを待ち受けるのは、クエボに付いた大統領の娘ユートピア、イタチのようにこそこそとして全く信用のできないマップ・トゥ・ザ・スターズ・エティ（スティーブ・ブシェミ）、燃えつきたサーファーのパイプライン（ピーター・フォンダ）、残忍な子供を中心としたコリアン・ドラゴン、謎の女タスリーマ（パレリア・ゴリノ）、誰も生かして通さないビバリーヒルズの外科医総統（ブルース・キャンベル）、クエボと敵対する組織サイゴン・シャドーを率いるハーシー（バム・グリア）、そして最大の難敵であるクエボ・ジョーンズと“輝く道”たち。

果たしてスネークは彼らと戦い、あるいは利用し、無事ブラックボックスを奪還することができるのだろうか？

既に残り時間は、この時8時間を切っていた…。

